

語り、生きるべき福音 1コリント 15:1-5

2024. 6. 30 丘、庄和 NO. 728
春日部福音自由教会 山田豊

先週、教役者総会が行われました。ある旅行会社を通して施設の予約、運営をお願いしているのですが、担当のNさんとはずいぶん長い付き合いになります。帰り際、Nさんにキリスト教の最も大切な福音をお話することができました。いつの日か、主イエスを信じることができるよう、心に掛けている次第です。

その時私がお話ししたのは、聖書に書かれている「最も大切なこと」だったのです。聖書は、さまざまな言語に翻訳され、世界で一番多く発行されている書物です。人生の終わりを美しく終わりたい、ということで晩年聖書を手に取る方もおられます。

3つのポイントに、まとめられています。

第1は、3節にある、イエスキリストは私たちの罪のために死なれた、ということです。人生にうみ疲れ、死の陰の谷を歩いている私たちを生かすために、イエスキリストは十字架の上で、ご自分の命をささげたのでした。ここに、神の愛があります(ヨハネ 3:16)。第2は、4節前半にある、イエスキリストは葬られた、ということです。イエスのご遺体は岩をくりぬいて作った、新しい墓に納められたのでした。そして第3は、4節後半のイエスキリストはよみがえられたこと、復活したということです。復活とは、死人がゾンビのように動き出すではありません。時間や空間に制限されない、新しいからだとなっているのです。しかし、復活したイエスの手とわき腹には、刺された傷跡がありました(1ペテロ 2:24)。

ある女性のお母様が、がんで亡くなりました。その夜、夢の中にお母さまが現れ「復活は本当にあるのだよ」と告げたそうです。葬儀の後、彼女は聖書を学び、クリスチャンとなり、今は牧師の妻、また母として、神様のために励んでいます。彼女は、福音を語るだけでなく、その通りの生涯を送っておられるのです。

福音を信じることは、その人の生き方を新しく変え、絶望ではなく、復活の希望をもって歩むことにつながるのです。

「ですから、私の愛する兄弟たち。堅く立って、動かされることなく、いつも主のわざに励みなさい。あなたがたは、自分たちの労苦が主にあって無駄でないことを知っているのですから。」

1コリント 15:58

引用聖句

ヨハネ 3:16 神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに世を愛された。それは御子を信じる者が、一人として滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。

1 ペテロ 2:24 キリストは自ら十字架の上で、私たちの罪をその身に負われた。それは、私たちが罪を離れ、義のために生きるため。その打ち傷のゆえに、あなたがたは癒やされた。

1 コリント 15:58 ですから、私の愛する兄弟たち。堅く立って、動かされることなく、いつも主のわざに励みなさい。あなたがたは、自分たちの労苦が主にあって無駄でないことを知っているのですから。



イエスが葬られた墓は岩をくりぬいたもので、入り口は封印された



イエスの墓のイメージ(ナショナルジオグラフィック、2016年11月)